

佐野市立犬伏小学校



校長室だより



令和5年度 第8号
R5.6.14
館野 道明

うれしいニュース

前号の校長室だよりにおきましては、運動会へのご感想・ご意見をたくさんお寄せいただき、誠にありがとうございました。多くのおほめの言葉や職員に対する労いの言葉をいただき、とても心が温まる思いがしました。また、さまざまな視点からのご提案や改善すべき点をご指摘いただきまして、たいへん参考になりました。次年度の運動会に向けて早速構想を練り始めていきたいと考えております。

さて、6月10日(土)の下野新聞に、「足利市立富田小学校の児童9名が、高齢者の女性を救う」という記事が載っていました。登校途中、道路脇の側溝で倒れている女性を発見し、児童たちは、手分けをして自宅や付近にいた保護者に助けを求めたとのこと。また、現場に残った児童は、女性に「大丈夫ですか。」などと声をかけ励まし続けたとのこと。



本校におきましても、うれしいニュースがありました。6月12日(月)朝、地域にお住まいの方から、気持ちのよいあいさつができて素晴らしいとお電話をいただきました。犬伏JA近くの横断歩道で、止まってくれた車の運転手の方に対して、お礼のあいさつを言っているのが、目に留まったそうです。とてもうれしく思います。

～一人は一校を代表する～



以前、ある先生から「一人は一校を代表する」というお話を聞いたことがあります。校外での生活において、善くも悪くも、一人の言動がその学校の評価として価値付けられるという意味です。まさに、上記の2つの例は、その児童自身だけでなく、学校としての評価を高めたと言えます。

～凡事徹底と自主考動力の育成～



今月、4・5・6年生は、遠足や校外学習が計画されています。ぜひ、「一人は一校を代表する」ことを意識して、いわゆる「凡事徹底」、日ごろ学校で行っている「あいさつ・返事・靴そろえ」をはじめ、公衆道徳やマナーなど、当たり前のこととして、校外でも実践できるとよいと思っています。

また一方では、近頃、市内において不審者出没の情報がよく入ってくるようになっていきます。校外の生活においては、いろいろな場面に出会うことが予想されます。常に、自分は、こんなときどうすればいいのか、自分にはどんなことができるのか、自問自答し、自分から考えて行動する力(自主考動力)を育てていきたいと考えています。

